

ピース Labo. 冬季連続講座

in 満蒙開拓平和記念館 vol. 2

2015.1.19

ピース Labo. は、満蒙開拓平和記念館の開館 1 年前より満蒙開拓の史実全般を学ぶ連続講座を開催して参りました。

今年は、戦後 70 年を迎えます。今だからこそ、満蒙開拓について様々な視点で捉えたいと、昨年に引き続き冬季連続講座を開講します。

ぜひ、この機会に満蒙開拓について一緒に学んでみませんか？

2013 年 4 月 24 日、開館式で元泰阜村開拓団員の故中島多鶴さんは、「満蒙開拓の歴史を後世に伝え残し、命ある限り平和を求めて歩み続けていくことを誓います」と誓いの言葉を述べられました。その言葉通り、多鶴さんは 2014 年 11 月に亡くなるまで、ご自身の体験を語り続けられました。その思いを次の世代に語り継ぐために何ができるのか。私たちには大きな宿題が残されています。

同じ悲しみを繰り返さないために負の歴史と向き合い、平和の宝と変えていく。

そのためには、語り部の思いに真摯に耳を傾け、学ぶ場を持ち続けることが私たちのできることだと考えます。

昨年の冬季講座では、大雪の影響で中止となった講座がありました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

再びその講座をかわきりに、満蒙開拓とは何だったのか、学びを深めたいと思います。今年は大雪に見舞われませんように。 (ピース Labo. ボランティアグループ)

※連続講座の詳細は、裏面に掲載しています！

～ピース Labo. ボランティアグループ～

2013 年 10 月、記念館を末永く支えることを目的に、1 年間満蒙開拓を学んだ人を中心として発足しました。できる時にできる人ができる事を考えて記念館のお手伝いをしていくという発想で活動しています。

「前事不忘、後事之師」(前の事を忘れることなく、後の戒めとする)を合言葉に自ら学び、自ら行動することを大切に、これからも様々な取り組みをしていきます。

毎月第 3 木曜日 午後 7 時から 記念館でミーティングや勉強会をしていますので、興味のある方は、お気軽にお越しください。お問い合わせは記念館まで。

ピース Labo.冬季連続講座 in 満蒙開拓平和記念館 vol.2

主催：ピース Labo. ボランティアグループ 共催：満蒙開拓平和記念館
会場：満蒙開拓平和記念館 セミナールーム
時間：午後1時30分～3時（各回とも）
申込：各講座の一週間前までに記念館へ FAXにて（電話も可）
参加費：各回記念館入館料(一般500円・小中高生300円)が必要となります。
受講は1回だけでも可。定員先着40名。

〈講座内容〉

第1回 2月21日 (土)	「満蒙開拓から見る国と地方自治」 ◇講師：岡庭一雄氏（元阿智村村長） ◇内容：国策として決定した満州農業移民を自治体はどのように捉え推進していったのか。旧清内路村などの資料を紐解きながら、自治体の役割や現在の国と地方のあり方を問います。
第2回 2月28日 (土)	「祖父が残したもの」 ◇講師：胡桃澤 伸氏（元河野村長 胡桃澤 盛氏の孫） ◇内容：満州で集団死（集団自決）した河野村開拓団。分村を決めた村長は敗戦の翌年に自宅で自ら命を絶った。家族の中でもタブーとなっていた史実に、盛氏の日記の公表を機に60年の時を経て向き合うこととなった氏の思いを語っていただきます。
第3回 3月15日 (日)	「戦争の記憶と歴史をつなぐ」 ◇講師：小川幸司氏（高校教員） ◇内容：人々の記憶、証言から歴史がどのように織りなされるのか。アジア・太平洋戦争を含む世界史のさまざまな事例を題材にして、記憶や証言と歴史の関係とはいかなるものか、私たちは記憶や証言にどう向き合い、未来に伝えていけばよいのかを考えます。

～冬季連続講座申込み～ FAX・TEL 0265(43)5580

氏名 _____ 連絡先 (_____) _____

メールアドレス _____

*悪天候などにより中止する場合の連絡先としてください

受講を希望される講座に○をしてください

全て	第1回	第2回	第3回
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

